

Critical Thinking

に基づいた

英語論文の書き方セミナー



適切な問題設定

ロジカルな立論

効果的な分析・考察

説得力のある結論

良い論文には、クリティカル・シンキングが欠かせません。

2018年1月23日（火）14:00 - 15:30 open 13:30

豊中キャンパス 附属総合図書館6階 図書館ホール

共同企画・運営：

経営企画オフィスURA部門、附属図書館

協力：

全学教育推進機構教育学習支援部、キャリアセンター

詳細 & 参加登録（要申込）：

<http://osku.jp/w0814>

2018年1月22日（月）までにお申し込みください。

また、定員80名になり次第締め切ります。



Speaker

上田 晶子

名古屋大学
大学院国際開発研究科 准教授



開発学博士（University of London）。在インド日本国大使館専門調査員、国連開発計画（UNDP）コーディネーションオフィサー、大阪大学特任准教授を経て、現職。著書、論文等多数。海外での豊富な研究経験を元に、大阪大学グローバルコラボレーションセンターにおいては、長年クリティカル・シンキングに基づいたアカデミック・スキル育成の講座を担当し、受講者から大きな反響を呼んでいた。

HOW IT BENEFITS ME

理工系

論文の厳密さと再現性（rigor & reproducibility）をより厳しく要求するようになった海外のジャーナルに投稿した場合、良質なデータだけではなく、説得力のある論理展開が問われる。

人社系

実験データを扱わない研究が多いからこそ、論拠をしっかり見せ、客観的に結論に導くことが大事。

What it is about

Transferable skillsとしてのクリティカル・シンキングは、近年日本の多くの大学でも様々な場面において導入されている。海外では、クリティカル・シンキングの理論が論文執筆の活動においても活用されているが、日本ではまだ広く実践されていません。ぜひこの機会に、勉強してみませんか。

Open to

海外誌に投稿する予定のある大阪大学の研究者、大学院生等

FDの視点から、クリティカル・シンキングに基づいた論文の指導法を知りたい教員等

Inquiry

writing-seminar@lserp.osaka-u.ac.jp
経営企画オフィスURA部門